

011 イエスの誕生

ルカによる福音書 2 : 1、マタイ 1 : 18~25

01① そのころ、皇帝アウグストゥスから全領土の住民に、登録をせよとの勅令が出た。

→アウグストゥスは、イエスが誕生した時のローマ帝国の初代の皇帝（在位：BC27～AD14年）である。本名（全名）は、ガイウス・ユリウス・カエサル・オクタウィアヌス（オクタビアヌス）である（ユリウス・カエサルの甥に当たる）が、称号のカエサル・アウグストゥスの方が有名である。

→住民登録は、ローマ帝国支配地域に在住する誰もが、ローマ帝国へ税金を納めるためになされた。すべての人は、それぞれの故郷で登録を義務付けられた。

02 これは、キリニウスがシリア州の総督であったとき（AD6年）に行われた最初の住民登録である。

→キリニウスはAD6年に、シリアの総督になった。ユダヤ人の歴史家ヨセフスによれば、キリニウスはAD6年か7年に住民登録（人口調査）を行ったとされる。イエスはヘロデ大王の時代に生まれ、ヘロデはBC4年に死んだとされている。アウグストゥスの「業績録」によれば、国勢調査は3回（BC28年、BC8年、AD14年）行ったと記され、キリストの誕生前後にはローマによる国勢調査は行われていない。従って、この聖句箇所は整合性が取れず、誤りと思われる。

03② 人々は皆、登録するためにおのおの自分の町（→本籍地）へ旅立った。

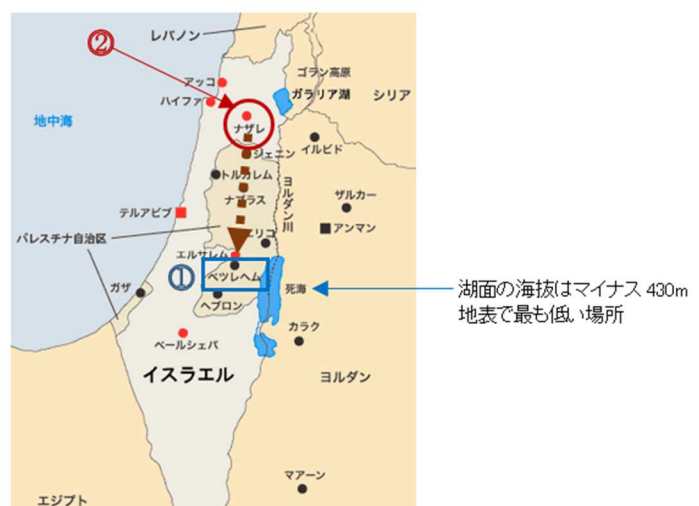
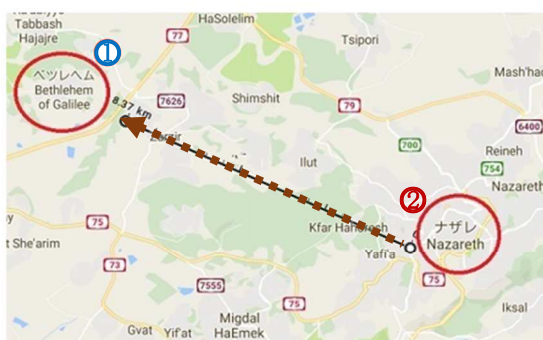
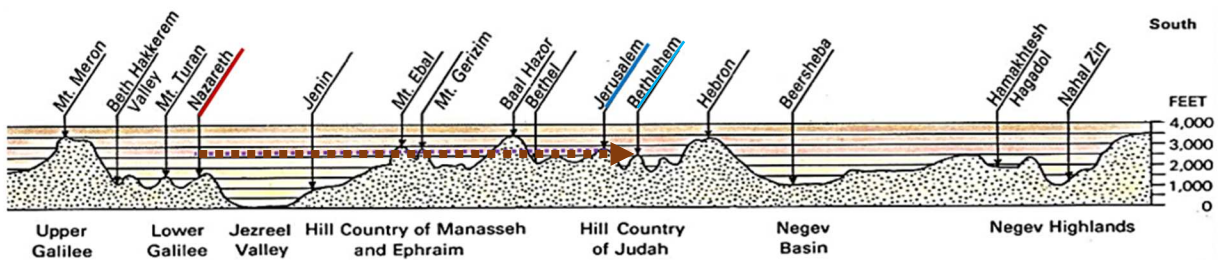
04 ヨセフもダビデの家に属し、その血筋であったので、ガリラヤの町ナザレから、ユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上って行った。

→ベツレヘム（ヘブライ語で「パンの家」の意味）は2地点（下図①②）に存在する。

また、ヘブライ語聖書では「ダビデの町」（ダビデが建てた町）とされ、新約聖書ではイエス・キリストの生誕地とされている。

①ユダヤのベツレヘム：エルサレムの南方8kmにある町（海拔750m）。⇒ダビデの町

②ナザレの北西約9kmにある村で、ゼブルン族が所有している（ヨシュア記19：15）。



06㊦ところが、彼らがベツレヘムにいるうちに、マリアは月が満ちて、
→創世記 25 : 24、サムエル記上 1 : 20、ルカによる福音書 1 : 57

07 初めての子を産み、布にくるんで飼葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである。

→初めての子は、律法によると、初めて生まれた男子は神の者である。→出エジプト記 34 : 19

→布にくるんで：この布は、埋葬の死者をくるむために墓の近くの洞窟に準備されていた「亜麻布」で、イエスは、この亜麻布を利用して、当時の習慣であった、赤子の両腕がまっすぐに伸びるようにくるまれた。

→宿屋：カタルマティ⇒居場所（ホテルではない）

・口語訳、ルカによる福音書 2 : 7 初子を産み、布にくるんで、飼葉おけの中に寝かせた。客間には彼らのいる余地がなかったからである。

・皆が住民登録で移動していたため、空いている部屋（客間）がなかったのであろうと思われる。

→マタイによる福音書 2 : 1a イエスは、ヘロデ王の時代にユダヤのベツレヘムでお生まれになった。

ヘロデ大王が死んだのはBC4年で、イエスは、それ以前に生まれている。